年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校　令和8年度　（　３学年）　　国語　科目　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年　　A　組～　　B　組

教科担当者：　（A組：本領　弘之）　　（B組：本領　弘之）

使用教科書：　（　大修館書店「新編文学国語」　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名【明日をひらく】【詩を味わう】 【知識及び技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる。／指示語に注意して、文脈を理解できる。／漢字の読み書きや語句の意味を習得する。【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品に表れているものの見方や感じ方をとらえ、内容を解釈できる。／筆者・作者が言いたいことを読み取り、自分の考えをまとめる。／詩においては、表現を味わい、文学史的事項も理解する。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の読み取りを行い、自己の人生に生かせる。	「そとみなかみ」 「永訣の朝」 「小景異情」	○	○	○	【知識・技能】本文中の常用漢字の読み書きができる。本文中の語句の意味を概ね理解している。／詩人についての文学史的事項を理解している。 【思考・判断・表現】内容や構成、展開、描写の仕方等を的確に捉える。／筆者が大切だと考えていることを読み取り、自分の考えをまとめる。／詩に込められた詩人の思いを共感的に理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】文章から読み取った筆者のメッセージを、自分の人生にどう生かしていくかを考える。	○	○	○	24
	定期考査						○	○		1
2学期	単元名　【古典の世界３】 【知識及び技能】我が国の古典文化の特質や我が国の代表的随筆について理解できる。／文学史的事項についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品に表れているものの見方や感じ方をとらえ、内容を解釈できる。／それぞれの作品のテーマを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】古文に関する基本的な言葉や事柄を調べ、積極的に自分の考えを説明できる。	「山月記」	○	○	○	【知識・技能】漢文訓読調の文章を音読し、独特なリズムや響きを理解している。／普段馴染みのない漢語の意味を理解している。／中島敦についての文学史的事項を理解する。 【思考・判断・表現】　場面の展開を理解し、攻勢を把握している。／李徴の人物像を的確に把握し、心理と行動を追える。／「尊大な羞恥心」と「臆病な自尊心」について理解し、李徴はなぜ虎となったのかを理解する。／作品のテーマについて考える。 【主体的に学習に取り組む態度】作品を分析的かつ共感的に読み解き、自分自身を省みる。／人間について理解を深め、自分考え持ち他者と意見交換することで、物の見方や感じ方、考え方を深める。	○	○	○	26
	定期考査						○	○		2
3学期	単元名　【古典の世界３】 【知識及び技能】我が国の古典文化の特質や我が国の代表的随筆について理解できる。／文学史的事項についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品に表れているものの見方や感じ方をとらえ、内容を解釈できる。／それぞれの作品のテーマを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】古文に関する基本的な言葉や事柄を調べ、積極的に自分の考えを説明できる。	「はしたなきもの」 「行く河の流れ」 （「手のわろき人の」）	○	○	○	【知識・技能】古語文法に注意しながら、文章を概ね理解している。／作品作者について、文学史的事項を理解している。／仏教的無常観について理解する。 【思考・判断・表現】作品内に挙げられて入れる事例や経験は、筆者が何を伝えようとしているのかを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者が伝えようとしていることに対して自分の考えを持ち、表現する。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
										合計 74